

| | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 講義名称 | 卒業研究 I | 担当教員名 | 小林 俊哉 |
| 科目群 | 必修 | | |
| 科目区分等 | | 単 位 | 2 |
| 対象学年次 | 2年・春学期 | ナンバリング | |

| | |
|---------------|--|
| 授業のキーワード | マスメディア、メディアリテラシー、問題解決、新聞 |
| 授業の概要 | 新聞を始めとするマスメディアの実情、可能性や問題などについて、卒業論文テーマを意識しながら学びます。 |
| 期待される学習成果（目標） | <ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞を始めとするマスメディアの賢い活用方法がわかります。 2. マスメディアに登場するさまざまなニュースの意味がわかります。 3. 論理的、合理的思考ができるようになります。 |

| 授業展開 | | |
|------|-------------------|---|
| 回 | テーマ | 内 容 |
| 1 | 導入 | 基本的なゼミの運営方法について説明します。 |
| 2 | ゼミとは何か | そもそも大学におけるゼミとは何か、何を学ぶのかについて概観します。 |
| 3 | ゼミとは何か、マスメディアとは何か | 前講に引き続きゼミの基本をお話しします。また各自のメディアについての考えを確認します。 |
| 4 | マスメディアとは何か | マスメディアとは何かについて、その基本を説明します。 |
| 5 | メディアリテラシーとは何か | メディアリテラシーの基本について学びます。 |
| 6 | メディアリテラシーとは何か | 前講に引き続き、メディアリテラシーの特徴について学びます。 |
| 7 | 私たちとマスメディア | 各自のマスメディアとの付き合いを振り返ります。 |
| 8 | 私たちとマスメディア | 自分の意見の形成に対するメディアの影響について考えます。 |
| 9 | 問題解決の仕組み | 「問題解決」とは何か、その基本を学びます。 |
| 10 | 問題解決の仕組み | 問題解決のための課題設定について学びます。 |
| 11 | 問題解決の仕組み | 課題設定についての学びを継続しながら、具体的な問題解決を試みます。 |
| 12 | 卒論について | 卒論作成にあたっての心構え、テーマの選択法、注意点について説明します。 |
| 13 | 新聞の読み方 | 新聞の歴史、功罪、役割、その読み方について考えます。 |
| 14 | 新聞の読み方 | 紙媒体の新聞はその凋落が指摘されます。新聞の将来性を探ります。 |
| 15 | 卒論仮テーマ発表 | 仮テーマを各自が発表し、質疑応答をします。 |

| | |
|---------------------|-------------------------|
| 定 期 試 験 | 期末課題の提出を、定期試験に代替します。 |
| 評 価 方 法 | 中間課題30%、口頭発表30%、期末課題40% |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | 必要に応じて資料を配付します。 |
| 参 考 文 献 | |